

R5年度 モコ末広保育園 園評価

保護者アンケートより

「X」の投稿回数を増やしたことやコドモンのドキュメンテーションを取り入れたことで、保護者の皆さんに子どもの姿や様子、園の活動を詳しく伝える事ができた。写真付きの配信だったので、「遊びや活動、保育の内容や過程を知ることができた」「子どもとの会話が増えた、弾んだ」との声も多く聞かれ嬉しく思う。今後も子どもたちのあそびの様子や、夢中になっていること、活動を通して子どもたちが育っている姿などをX、ドキュメンテーションで配信していきたいと思う。

今年度、新しい取り組みとして絵本の活動を取り入れた。「ワクワク絵本タイム」や「貸し出し絵本」や「月刊絵本の読み聞かせ」に関しては、“家庭で絵本の話が増えた”“絵本を通して親子での会話が増えた”“絵本に関心を持った”等の意見が多く寄せられた。来年度も引き続き「絵本」の活動を大切に取り組んでいきたい。

モコ末広保育園の活動「自然にふれる活動、泥あそび、伝承遊び、異年齢交流」といった園の方針、活動に多数の方から共感をいただいたので、今後も継続して活動に力を入れていきたい。

職員評価より

「全体的な計画」を4期の計画→月の計画に具体化したことで見通しを持つ保育ができた。しかしながら職員によっては、深く読み取りすることが難しく迷いを感じている職員も見られた。

今年度、保育としては絵本の活動やサークルタイム、コドモンのドキュメンテーションなど新しい取り組みを始めた。新しいことを取り入れることで学んだことや刺激になったことも多いが、時間の使い方や習慣化することには課題が残った。

係等の業務では、気が付く・気に掛ける・気遣う習慣がなかなか身につかず、自ら行動を起こす職員が少なかった。時間を上手に活用する・時間を組み立てることが課題である。保育業務中の時間を上手に組み立て、職員の資質向上を目指していきたいと思う。

園総合評価

モコ末広保育園の風土を確立していく事を課題としたので、今年度はその為に「全体的な計画を深めること」と、3つのあそび「山、泥、伝承遊び」を深めることに力をいれた。

園で掲げている3つのあそびはまだ園全体に浸透しきれていない為、来年度も引き続き職員研修で取り入れていきたい。

園での子どもの様子や活動の様子についてXの継続的な配信、コドモンのドキュメンテーションの配信（幼児クラス）で伝えることができた。ドキュメンテーションについては、新たな取り組みとして今年度から始めたため内容や回数も試行錯誤しながら配信してきたが、写真付きの配信なのでより詳しく伝えられたと感じている。

職員同士の対話、活動の共有、係の仕事など全てにおいて主体的に職員が行動することが、保育園の活性化につながると感じた。

今年度は末広中学校、安西小学校、グループホームとの地域交流もできたので、今後もできる限り地域交流を増やしていきたい地域に根付いていけるようにしていきたい。